

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月25日

事業所名：COCOSKIP

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0		
	2 職員配置数は適切であるか	9	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3	2	車いすや歩行杖等の使用を希望される利用者様にも出勤職員の確保を行いバリアフリー化で対応できていない点を補えるようにしています。	職員の離職を減らすための努力やバリアフリー等の希望を受け付ける窓口の設置を検討します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	0		
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0		
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0		パート・アルバイトの職員への自己評価表の公表についての告知ができていない。職員の入職時に説明等を行うように仕組みを整える。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	2	第三者評価は実施していないが地域の相談事業所や障がい福祉課との密な連携を目指しています。	現状改善する状況ではないと考えています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	0	各委員会からの研修と勉強会等を年間で6回以上確保しています。	パート・アルバイトの職員へ研修の機会を設けることができていない。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0		
	10 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	1	発達検査等の情報共有を保護者にご協力してもらっています。	継続して協力をお願いします。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	3	0	地域支援の面で個別の運動療育という点から支援内容として若干の難しさを感じている。	定期的な外部講師等の招き入れを行い地域と連携等を行えるように支援する。
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	2		パート・アルバイトの職員へ研修の機会を設けることができていない。

適切な支援の提供	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0		
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	4	0	支援記録での事前確認を毎回行うことを習慣化し必要があれば情報共有を行う形で支援を行っています。	ケース会議の日程を毎週1～2時間確保しているが職員からの声を聞きながら増やしていく予定をしています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	0	個別での支援のため必要があれば児発管への相談から全体会議にあげる仕組みになっています。	ケース会議の日程を毎週1～2時間確保しているが職員からの声を聞きながら増やしていく予定をしています。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0		
	19	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	9	0	0		
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	3	0	障がい支援課・保健所・各所相談事業所との定期的な連携を心がけています。	
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	7	2	該当する契約者様がおられません。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	7	2	該当する契約者様がおられません。	
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	0		
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	2	0	保護者の希望により必要があれば連携を取っております。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	0		
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	5	個別支援のため現在交流の機会を設けられていません。	現状改善する状況ではないと考えています。
	28	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	5	2	参加しておりますが職員への周知ができていない。	職員への周知を徹底します。
29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0			

保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	4	0	支援を見学してもらい活動後は個別で保護者と話し合いの時間を確保しています。	外部委託にも協力してもらい保護者様への療育の理解と活動参加を更に目指します。
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2	0	必ず支援開始に向けて説明を行っています。	支援初回よりも前に契約だけでの通所の時間を確保できるようにする。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	0		
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	3	集団療育等を通して保護者通しがコミュニケーションを取れる環境を提供している。	保護者回答の開催は職員の負担等を含めて必要に応じて実施を検討します。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	0	個別での対応を行っており	現状改善する状況ではないと考えています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	0		
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0		
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	3		現状改善する状況ではないと考えています。	
非常時などの対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0	0		
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0		
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	0		
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	6	3		食事を提供することがありませんので現状のままで継続します。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3	0		職員への周知を徹底します。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	1	0		